

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01固定資産取得費

事務事業番号 01010109

事業名		医療機械器具整備事業		担当部署	市立病院事務局 経営管理課	
根拠法令						
令和2年度決算額		647,851	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金	358,172	千円			
	地方債	282,400	千円			
	その他	2,784	千円			
	一般財源	4,495	千円			
事業費（総計）		649,967	千円			
決算額		647,851	千円			
人件費		2,116	千円			
事業の目的		東胆振・日高の医療圏域を対象としており、高度な医療需要に対応した医療機器の導入や更新等の整備を進めます。				
事業の内容 SDGs17の目標		主な機器の整備内容 バイプレーン血管撮影装置 【機器の説明】 心血管カテーテル等、循環器X線撮影における血管撮影装置 【整備の理由】 現有機の購入から13年が経過していることに加えて、最新機器の導入により低侵襲性や被ばく量の低減、機器の操作性の向上などが期待できるため。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R2年度	R1年度	H30年度
		医師数	人	76	73	77
		紹介患者数	人	7,412	8,955	8,758
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●	医療機器の更新等は、医師の確保や「質の高い医療」の提供に大きく寄与するものであるため、「4」としました。			
効率性		●	整備したすべての機器を費用対効果の点から判断することは難しいものの、医療現場の声をもとに、より効果的な機器を選定していることから、「3」としました。			
公平性		●	機器の更新や整備は、東胆振及び日高圏域の中核病院として住民の方々へ高度医療を提供するために必要不可欠なものであることから、「4」としました。			
将来性		●	本事業は、機器の購入による医療水準の向上に寄与するとともに、医師の確保などを通じた将来的な診療体制の構築に資するものであるため、「4」としました。			
総合評価		A				
特記事項		項目評価のとおり概ね目的に適った事業を行うことができていますが、今後も安定した医療体制を実現するため、医療スタッフの確保に向けた魅力ある病院づくりを進めていきます。また、圏域内の高度急性期及び急性期医療の提供を維持するとともに、地域包括ケア病棟などを活用した「切れ目のない医療」の提供を目指し、医療技術の進歩に合わせた高度医療機器の計画的な整備を行ってまいります。				

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 03長期貸付金

目 01学資金貸付金

事務事業番号 01030110

事業名		学資金貸与事業		担当部署	市立病院事務部 経営管理課																										
根拠法令		苫小牧市立病院学資金の貸付けに関する条例																													
令和2年度決算額		37,600	千円	項目評価				総合評価 A																							
財源内訳	国道支出金		千円																												
	地方債		千円																												
	その他	2,950	千円																												
	一般財源	34,650	千円																												
事業費（総計）		39,010	千円																												
決算額		37,600	千円																												
人件費		1,410	千円																												
事業の目的		将来、当院で看護師等の業務に従事しようとする優秀な人材の育成及び確保を目的として、看護師等養成機関の就学者に対して学資金を貸与するものです。																													
事業の内容 SDGs17の目標		<p>将来の必要人員を踏まえ例年9月・3月に募集し、予算の範囲内で最大限制度の活用を図っています。具体的には、看護師免許取得可能な道内の高校・大学・看護学校等に対して資料を送付して利用を呼び掛けています。</p> <p>【令和2年度 決算額】</p> <table border="0"> <tr> <td>看護師</td> <td>53人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>31,800千円</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1人</td> <td>×</td> <td>50千円/人</td> <td>×</td> <td>8か月</td> <td>=</td> <td>400千円</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>3人</td> <td>×</td> <td>150千円/人</td> <td>×</td> <td>12か月</td> <td>=</td> <td>5,400千円</td> </tr> </table>						看護師	53人	×	50千円/人	×	12か月	=	31,800千円	看護師	1人	×	50千円/人	×	8か月	=	400千円	助産師	3人	×	150千円/人	×	12か月	=	5,400千円
看護師	53人	×	50千円/人	×	12か月	=	31,800千円																								
看護師	1人	×	50千円/人	×	8か月	=	400千円																								
助産師	3人	×	150千円/人	×	12か月	=	5,400千円																								
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R2年度	R1年度	H30年度																							
		学資金貸与者数			人	57	58	55																							
項目評価		高 → 低		評価の理由																											
		4	3	2	1																										
有効性		●				安定した医療体制の実現には医療スタッフの安定確保は不可欠であり、当該事業の果たす役割は大きいことから、「4」としました。																									
効率性			●			当該事業による入職者の定着率が高いことから、「3」としました。																									
公平性		●				市内外の高等学校や当院ホームページでの周知により、広く公募していることから、「4」としました。																									
将来性		●				当院は地域医療を守るとともに、良質な医療を提供していくことが求められ、当該事業の果たす役割は大きいことから、「4」としました。																									
総合評価		A			評価項目のとおり目的に適った事業を展開できています。次年度も当該事業の活用によって優秀な人材を確保し、地域医療に貢献していく考えです。																										
特記事項																															